

主催：化学工学会播磨産業懇話会、(公社)化学工学会関西支部

協賛：兵庫県立大学環境エネルギー研究センター

第 32 回 播磨産業フォーラム

～電力・エネルギーの現状と将来～

電力をはじめとするエネルギーは生産や生活など全て活動の基であり、エネルギーなしでは国家が立ちいかなくなる最重要事項である。日本では東日本大震災にともなう福島第1原発の事故以来、脱原発の動きが高まり、それまでの原子力発電中心のエネルギー供給から、火力発電や自然エネルギー利用へと大きく転換する可能性もある状況になってきている。そのため、現在、安全審査のために国内のすべての原発が停止し、電力供給の不安や電気料金の大幅な値上げの動きが強まっている。

このような社会状況の中で、電力を中心とする現在のエネルギー供給状況はどうなっているのか？原発無しでこれからの電力供給や発電の見通しはどうなるのか？は最大の関心事である。また、石炭ガス化複合発電（IGCC）を含めた、ガスタービンと蒸気タービンを組み合わせたコンバインド発電システムなど火力発電の高効率化、燃料電池など新しい技術を使ってのさらなる高効率化など、将来に向けた技術開発はどのようになっているのか？も知らなければならない情報であろう。

今回はエネルギー供給全般の状況、火力発電を中心とした電力供給の現状と将来展望についてそれぞれの専門家の方をお招きし、最新の情報を伺いながら電力を中心としたこれからのエネルギーを考える機会としたい。

日時：平成 26 年 2 月 7 日(金) 講演会 14:00～17:00

1. 電気事業の現状と課題

関西電力株式会社 姫路支店長 執行役員 磯田 宗孝 氏

2. LNG の現状と将来の動向

三菱商事株式会社関西支社エネルギー事業部 LNGチームマネージャー 住田 隆広 氏

3. 石炭ガス化を利用した高効率発電技術の開発状況と今後の展望

一般財団法人電力中央研究所 首席研究員 牧野 尚夫 氏

懇親会 17:30～19:30

場所：講演会 じばさんビル 9F 901 会議室(最大定員 180 名)

姫路市南駅前町 123 番地 <http://www.jibasan.or.jp/>

懇親会：17:30～19:30 ホテル日航姫路

姫路市南駅前町 100 番地 <http://www.hotelnikkohimeji.co.jp/>

参加費：講演会懇話会会員/学生：無料，会員外：5000 円，懇親会：5000 円

参加申込方法・締切：

参加ご希望の方は題名を「第 32 回播磨産業フォーラム参加希望」とし、

- 1) 氏名，2) 勤務先・所属，3) 連絡先（住所，メールアドレス，電話番号），
- 4) 参加資格（会員・会員外），5) 懇親会参加の有無を明記のうえ、

harimakonwakai@gmail.com へ 1 月 31 日までにお申し込みください。

連絡先：

播磨産業懇話会事務局 佐藤根 大士（兵庫県立大学大学院工学研究科）

TEL&FAX：079-267-4842

E-mail：satone@eng.u-hyogo.ac.jp